

家畜衛生情報



令和6年11月8日
(通算第685号)
問い合わせ先
長野県庁園芸畜産課
電話 026-235-7232

国内初ランピースキン病が発生しました

令和6年11月6日、福岡県の乳用牛飼養農場で、国内では初めてとなるランピースキン病の発生が確認されました。もともとはアフリカで流行していた病気ですが、近年は中東、ヨーロッパ、アジアへ感染が拡大し、2023年には韓国で発生しています。家畜伝染病予防法で届出伝染病に指定されており、有効な治療法はありません。

ランピースキン病ってどんな病気？



- ・ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病
- ・感染した牛は、**全身の皮膚の結節や水腫**、発熱、泌乳量の減少等の症状を示す
- ・ほとんどの牛は徐々に回復するが数か月かかり、生産性に影響を及ぼす
- ・主に**蚊、ハエ、ダニ**による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大
- ・発症した牛、発症した牛の生乳は**移動・出荷自粛**



農場ができる対策は？

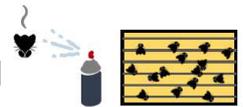
はいらないでね

01 毎日の健康観察

- ✓牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底
- ✓疑わしい牛は隔離し、診療獣医師や家畜保健衛生所へ連絡してください

02 害虫の駆除

- ✓殺虫剤の散布
- ✓粘着シート等の活用



03 畜舎・器具の洗浄・消毒

- ✓一般的な消毒薬（エタノール、次亜塩素酸 Na、逆性石けん等）が有効
- ✓他の畜産関係施設で使用した器具等は持ち込まない。持ち込む場合は、洗浄・消毒
- ✓血液が付着する物品（注射針、人工授精用器具等）は1頭ごと交換又は消毒

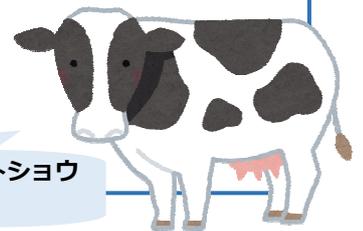
米国の乳牛で HPAI の感染事例が確認されています

令和6年3月に米国で確認された乳牛の高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）感染事例は、11月7日現在で15州443農場へ拡大しています。牛の症状は食欲低下や泌乳量の減少で、10日程度で回復します。

農林水産省は、野鳥から乳牛への1事例の感染から生じた極めて稀な事象であり、現状において日本の牛での感染を過度に恐れる必要はないと見解を示しています。

一方で、国内でも野鳥から牛に感染するおそれを完全には否定できないため、飼養衛生管理の徹底と、感染が疑われる事例があった場合は、診療獣医師や家畜保健衛生所へ連絡してください。

第12回令和6年度秋季長野県ブラック&ホワイトショウ
11月9日（土）小諸家畜市場で開催！



家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号	家畜保健衛生所	電話番号
佐久	0267-62-4123	飯田	0265-53-0439	長野	026-226-0923
伊那	0265-72-2782	松本	0263-47-3223	県庁園芸畜産課	026-235-7232